



■給食時の忘れ物について

2学期の始業式から早くも2週間が経ちました。夏休みボケも解消してきたころだと思いますが、最近、配膳(はいぜん)室にお箸を借りに来る人、給食係として必要なエプロンや帽子を借りに来る人がとても増えています。

配膳員さんによると、「1学期の4月ごろは1日に1人借りに来るか来ないかぐらいだったのに、最近は1日に10人以上借りに来る日が当たり前になっている」と、話されていました。実際に貸出表を見せてもらうと、1週間の間に2回・3回とお箸を借りに来る生徒もいます。

下に先週1週間の間に配膳室で貸し出された人数の一覧を載せておきます。(この表の人数は、お箸・エプロン・帽子の貸し出し人数を合計したものです。)

	1年	2年	3年	合計
9月1日(月)	5人	13人	0人	18人
9月2日(火)	6人	7人	2人	15人
9月3日(水)	5人	7人	3人	15人
9月4日(木)	2人	5人	1人	8人
9月5日(金)	2人	6人	1人	9人

・月曜日に多いのが、給食係のエプロンと帽子です。(それでも5~6人ほどです。)

・借りに来る人の約90%がお箸を借りています。

・4日(木)と5日(金)で借りに来る人数が減っているのは、あまりにも借りに来る人が多いので先生が3日(水)のお昼休みに配膳室で貸し出しチェックのために立ったためと思われる。



■気をつけてほしいこと

「忘れても借りれるからいいや」と考えていませんか？家を出る前に、自分で持ち物の確認(前日の夜までに準備しておくことが望ましい)は出来ていますか？

「たかがお箸…」ではありません。社会に出た時、忘れ物が多い・同じ失敗を繰り返していると信用されなくなります。そうならないためにも、「自分のことは自分でする・出来る」を、当たり前にしてほしいものです。

【配膳室でお箸を借りる際の注意点】

あくまでも、お箸は「借りているもの」であって、無料で配布されているものではありません。お箸を借りたら、必ず同じ分だけ配膳室にお礼とともに返却してください。

「借りたものは返す」は、社会の常識です！！

